一中が5年ぶりの優勝

中学野球 新人戦

令和6年度習志野市中学校新人体育大会の野球の部が9月15日から22日まで、第一カッター球場で開かれた。

大会では一中が優勝を飾った。この大会での一中の優勝は、2年連続で県大会優勝、全国大会出場を果たした令和元年度以来、5年ぶり。

決勝戦は一中と六中が対戦。一中は1回裏、四球、盗塁の1番清田が3番渡邊の二塁打でかえり先制。2回裏には8番竹田が内野強襲打で出塁。清田は四球で二死走者一、二塁に2番扇の右中間安打で1点。3回裏には四球の5番本間が捕逸の間に二塁へ。6番髙橋のバントがエラーを生み、本間がかえる。4回裏には4番若狭の中前安打、続く本間の右中間三塁打で4点目を挙げるが、六中も3回から入った中堅手の杉田の好捕などもあり、追加点は許さない。

一方、六中は1回、2回と四球で走者を出すが無得点。3回表、先頭の7番羽根田が四球、8番磯と9番實方の犠打で羽根田は三塁へ。1番篠崎の右中間適時打で羽根田がかえり1点返す。2番重藤は四球で、二死走者一、二塁とするが追加点は奪えない。4回表、先頭の3番室賀の当たりは安打性だが、一中二塁手の赤荻が好守。4番安彦は左中間二塁打だが、一中の堅い守りに得点できない。六中は5回表に磯が中前安打を放つが、好機を見い出せず、一中は髙橋、竹田、清田の投手リレーで3点差を守り切った。

優勝した一中の赤荻啓太キャプテンと若狭琉優人キャプテンは「新チームになって『新人戦市内優勝』という目標を立て、競争・協力・我慢というスローガンを胸に、日々練習に取り組んできました。決勝戦では、その練習の成果が発揮できたので、県大会では習志野市の代表として、29人全員で一丸となって、応援して下さる方々の思いを力に変え、プレーしていきたいです」と話した。

大会結果は次の通り。

▽1回戦

一中 17—5 東邦中

五中 15—0 四中

六中 3—2 二中

▽準決勝戦

一中 5—1 三・七中

六中 8—3 五中

▽決勝戦

六中 0 0 1 0 0 0 0 1

一中 1 1 1 1 0 0 × 4

優勝の一中

中学サッカー 新人戦

一中が大会連覇果たす！

優勝の一中

令和6年度習志野市中学校新人体育大会のサッカーの部が9月21日から10月6日まで、東邦中学校ほかで開かれた。

トーナメント戦の結果、一中が大会連覇を果たした。決勝戦は昨年度と同じく一中と二中が対戦。立ち上がり、互いに裏へのロングボールを多用し落ち着かない展開。前半7分、二中が右サイドからのクロスボールに桐生信がゴール前でフリーになりシュートを放つがポストに嫌われる。12分、一中が左サイドを崩しクロスを上げるが、GKに阻まれる。14分、一中は右サイドから中央への展開で氏家がキーパーの逆をつくシュートで得点。一中は15分、センターバック裏へのボールを檜垣が拾い、突破し追加点。25分、一中は再びセンターバック裏へのボールを檜垣が拾い抜け出すが、シュートは枠を外れる。二中は岡林が左サイドを抜け出し、松本につなぐが、オフサイド。前半は一中の2点リードで終了。

後半、立ち上がりは二中が押し込む展開だが、シュートまでは至らない。5分、逆に一中がカウンターで左サイドからのスルーパスに氏家が抜け出しシュートを放つが、枠を捉えられない。その後は一進一退の攻防。9分、二中の右サイドからのクロスをフリーで抜け出した松本のヘディングシュートがミートせず好機を逃す。10分、二中がペナルティエリア付近からのフリーキックを松本が壁に当て、こぼれたボールをゴール前に入れるがヘディングシュートはミートせず。12分、一中は右サイドからのクロスだが、檜垣はシュート枠を捉えられない。13分、二中は左コーナーキックを藤田がゴール目前でヘディングシュートするがわずかに外。15分、二中の中央30m付近の松本のフリーキックは一中のGK山田がキャッチ。16分、一中の小山が左サイドからカットインしシュートを放つが枠を外す。18分、二中の左コーナーキック。松本のキックは直接ゴールへ吸い込まれそうになるが、一中のGK山田ナイスセーブでピンチを凌ぐ。

終盤、二中は金城を投入し、仲田をトップに入れて好機を狙うが、28分、二中のペナルティエリア内でのハンドで得たPKを一中の氏家が落ち着いて決め3—0。アディショナルタイム、一中は大野が中央を抜け出し、シュートを放つが枠を捉えられず、このままタイムアップ。一中が勝利し、県大会出場権を得た。

（戦評・習志野市小中学校体育連盟中学サッカー専門部）

一中の山﨑開斗キャプテンは「先生、チームメートに恵まれ、チーム一丸となって試合に臨めたことが、勝利につながったと思います。これからも一つ一つ全力で取り組んでいきたいです」と話した。

大会結果は次の通り。

▽1回戦

五中 10—0 七中

一中 3—0 六中

二中 4—3 四中

東邦中 4—0 三中

▽準決勝戦

一中 1—0 五中

二中 2—1 東邦中

▽決勝戦

一中 3—0 二中

①一中②二中③五中③東邦中

優秀選手は次の通り。

【優秀選手賞】▽一中＝山田雅博・清水惟斗・山﨑開斗・氏家聡汰・檜垣寿充・大野仁▽**二中**＝桐生幸太・岡林蒼斗・松本悠冴・仲田琉稀▽**三中**＝土屋海晴▽**四中**＝中村寿夏▽**五中**＝野上太一・平野雅治▽**六中**＝小林航基▽**七中**＝太田梁斗▽**東邦中**＝前田拓・川原蒼空

中学ソフトボール 新人戦

六中が優勝飾る

優勝の六中

令和6年度習志野市中学校新人体育大会のソフトボールの部が9月14日と15日、第七中学校で開かれた。

大会は予選リーグと決勝トーナメントで競われ、六中が優勝を飾った。

決勝戦は六中と七中との顔合わせとなった。1回表、七中が先制するが、六中は3回裏に逆転。七中は同点とするが、6回裏に六中が勝ち越し。六中の投手・加藤は追加点を許さず、勝利した。六中は昨年の1年生大会に続いての優勝。六中と七中は10月19日から開催の県大会に出場。

六中の水原凜キャプテンは「私たちは市内新人体育大会優勝・県大会出場という目標に向かって日々練習を重ねてきました。そして大会本番では、私たちの強みである仲の良さを最大限に生かし、優勝を勝ち取ることができました。県大会や次の大会では、より強くチーム一丸となって勝てるように日々の練習を一生懸命がんばりたいです」と話した。

大会結果は次の通り。

▽予選Aリーグ

①七中②二中③一中

▽予選Bリーグ

①六中②五・一中③三中

◇決勝トーナメント

▽1回戦

一中 11—8 五・一中

三中 10—5 二中

▽準決勝戦

七中 17—2 一中

六中 10—2 三中

▽代表決定戦

三中 7—6 一中

▽決勝戦

七中 1 0 0 2 1 0 0 4

六中 0 0 4 0 0 1 × 5

①六中②七中③一中③三中

中学柔道 新人戦

団体戦 男子 五中 女子 四中

大会出場選手

令和6年度習志野市中学校新人体育大会の柔道の部が10月6日、第五中学校柔道場で開かれた。

県大会は10月26日と11月30日に開催。

大会結果は次の通り。

【団体戦】

▽男子＝①五中

▽女子＝①四中

【男子個人戦】

▽50kg級＝①佐島颯太朗（五中）②菅原司（五中）

▽55kg級＝坂本遥哉（五中）

▽60kg級＝①相馬優冴（五中）②鈴木大雅（五中）

▽66kg級＝①濵口颯佑（四中）

▽81kg級＝①小野涼真（五中）

【女子個人戦】

▽40kg級＝①永吉望七（四中）

▽44kg級＝①近藤愛梨（四中）②山崎来翠（東邦中）

▽48kg級＝①近馬莉桜（四中）②伊妻美佐（四中）

▽52kg級＝①福島俐奈（四中）②櫻井佳穂（四中）

▽57kg級＝①石橋瑞紀（四中）②庄司梨桜（四中）

▽63kg級＝①瀧澤ともり（四中）②鳩山紗幸（四中）